

---

## 第4回 日野町議会定例会会議録（第4日）

令和5年6月16日（金曜日）

---

### 議事日程

令和5年6月16日 午前10時開議

- 日程第1 諸般の報告
- (1) 議会関係の報告
  - (2) 一般行政報告
- 日程第2 議案第49号 令和5年度日野町一般会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第3 議案第50号 令和5年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第4 議案第51号 令和5年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第5 議案第52号 令和5年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第6 議案第53号 日野町副町長の選任について（町長）
- 日程第7 意見書第1号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について（議員）
- 日程第8 議員派遣の件
- 日程第9 閉会中の継続調査の申し出
- 

### 本日の会議に付した事件

- 日程第1 諸般の報告
- (1) 議会関係の報告
  - (2) 一般行政報告
- 日程第2 議案第49号 令和5年度日野町一般会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第3 議案第50号 令和5年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第4 議案第51号 令和5年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第5 議案第52号 令和5年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（町長）
- 日程第6 議案第53号 日野町副町長の選任について（町長）
- 日程第7 意見書第1号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について（議員）
- 日程第8 議員派遣の件
- 日程第9 閉会中の継続調査の申し出

---

出席議員（10名）

1番 小林良泰	2番 小河久人
3番 坪倉敏	4番 中山法貴
5番 梅林智子	6番 金川守仁
7番 松本利秋	8番 安達幸博
9番 竹永明文	10番 中原信男

---

欠席議員（なし）

---

欠員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

局長	中田早文	書記	小川由美子
		書記	瀬崎将太

---

説明のため出席した者の職氏名

町長	埴田淳一	副町長	音田守
教育長	生田求	総務課長	景山政之
住民課長兼会計管理者	荒木憲男	企画政策課長	神崎猛
健康福祉課長	住田秀樹	産業振興課長	五百川和久
建設水道課長	音田雄一郎	教育課長	遠藤律子

---

午前10時00分開議

○議長（中原 信男君） おはようございます。ただいまの出席議員数は10人であり、定足数に達していますので、これより令和5年第4回日野町議会定例会4日目を開会いたします。

出席議員には、タブレット端末機の使用を例規確認のため許可しておりますので、御了承ください。

ここで、1点申し上げます。昨日もお願いを申し上げましたが、テレビ中継での音声が届きにくいようであります。発言の際は、マイクの正面に近づけて発言をしていただくようよろしくお

願いを申し上げます。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしました日程のとおりであります。

---

## 日程第1 諸般の報告

### ○議長（中原 信男君） 日程第1、諸般の報告を行います。

本町の監査委員から、地方自治法第235条の2の規定による例月出納検査の結果について報告がありました。別紙写しを配付し、報告といたします。

次に、議会定例会初日以後の議会関係について報告をいたします。

6月11日、第44回中国山地日野鶉の池マラソン大会が開催され、議長ほか議員が出席をいたしました。同日、鳥取県西部消防ポンプ操法大会が米子市で開催され、副議長ほか議員が出席をいたしました。

次に、一般行政報告を埴田町長が行います。

埴田町長。

### ○町長（埴田 淳一君） 令和5年第4回議会定例会初日以降の一般行政報告をいたします。

議会定例会初日の前日ではございますが、6月4日に全国農業協同組合連合会の主催で、埼玉県内において第56回全農乾椎茸品評会が行われ、本町久住の上谷春さんが、こうしん中葉中肉の部門において林野庁長官賞を受賞されました。この賞は、最高賞の農林水産大臣賞に次ぐものですが、上谷さんはこれまでも農林水産大臣賞や林野庁長官賞を受賞されており、全国でもトップレベルの干しシイタケとして、上谷さんの高い栽培技術が認められたものでございます。この場をお借りしましてお祝い申し上げます。

次に、6月11日に第44回中国山地日野鶉の池マラソン大会を開催いたしました。昨年の大会は、参加者を町内及び県内に限定して実施いたしましたが、本大会は県外からも多くの選手に参加いただくことができました。当日は184名が参加され、また、アトラクションでは日野高校生に荒神神楽を披露していただきました。無料のみそ汁サービスやバザーもあり、大変にぎやかな大会となりました。抽せんでは、町民の皆様から御寄附いただきました日野米や特産品などを賞品としたところで、参加いただいた皆様にはとても喜んでいただいたところでございます。実行委員、運営委員の皆様や、コース整備、会場準備から当日の運営まで多くの町民の皆様に御支援と御協力をいただき、盛大に開催することができました。厚く御礼申し上げます。

同じく6月11日、第64回鳥取県西部消防ポンプ操法大会が米子市、鳥取県消防学校屋外訓

練場を会場に開催されました。日野町消防団からはポンプ車の部に第2分団が、小型ポンプの部には第1分団が出場されました。操法大会の結果、小型ポンプの部に出場された第1分団が見事に優勝され、7月2日、同場所で行われる県大会出場の切符を勝ち取られました。この場をお借りしましてお祝い申し上げますとともに、県大会での御活躍を祈念いたします。

いずれの分団も、技能向上のため仕事を終えられた後、遅くまで訓練を重ねられたと聞いております。このような努力の積み重ねが災害発生時の速やかな消火活動を支えているのだと、改めて感謝と敬意を表したいと思っております。

以上、一般行政報告でございます。

---

## 日程第2 議案第49号

○議長（中原 信男君） 日程第2、議案第49号、令和5年度日野町一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

最初に、予算書、歳入、9ページの質疑を行います。御確認ください。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、次に歳出の10ページの議会費から13ページ下段、衛生費までの質疑を行います。

9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君） それでは、12ページの民生費、社会福祉総務費の中の新型コロナウイルス感染症対策事業ということで、今回、光熱費や燃料費の価格高騰によるということで、医療、介護、福祉事業者に対し高騰分の補助金をこれ、約950万ほど上げておられます。この内訳は新型コロナ対策の交付金と自主財源を上げておりますが、これはどの業種においてもこの燃料費の高騰によって影響があったと思うんですが、今回、医療、介護、福祉事業に限定した理由をお聞かせ願いたいと思っております。

それと、もう一遍、全員協議会のときに質問させていただきまして、この施設、有床入院施設5、その他施設11ということで、この明細を頂きましたけど、その中で、合同会社で、この前新聞に出ておりました国の補助金を不正受給したという記事が載っておりますが、この会社もここに、その他の施設の中に明記してありますが、現在の対応と、今後この施設に対して今回の予算をどのような感じでそういう配慮されるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（中原 信男君） ただいま竹永議員のほうから2点についての質疑がございました。これは、町長、いかがですか。他業種との……（発言する者あり）いや、だから、町長、今の竹永議員の質疑、聞いておられましたか。

他業種との、その理由というか、なぜ介護施設だけをこういうふうにしたのかということと、障害施設の幸照ですか、ここが入ってる現状をお答えください。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） お二つ御質問でございます。

1つは、原油高騰、物価高騰に係る社会福祉施設等支援事業ということで、こういう社会福祉施設等を特だしにしてここにだけ支援するっていうのはどうなのかなというような趣旨かなと思いますけれども、予算の関係で、これ、国庫支出金、さらには一般財源ということでございますので、基本的には国の事業を実施するっていうことでございます。それと、一般質問でもございました、燃油高騰云々かんぬんで、畜産農家さん、そういったものにもやっぱりそういうのは必要じゃないかっていうようなお話をさせていただいたんですけれども、その部分につきましては、私どもの町、商品券、燃油にも使える、そういった商品券で対応させていただくということで御理解いただきたいと思います。

そして、もう一つの、施設の中に新聞に出された施設があるんだけど、その取扱いをどうするかというようなお話だと思います。新聞を読まれたと思いますけれども、要はそういう社会福祉施設ということの資格の取消しということが新聞に上がったと思いますので、当然そういう資格がないということになりますと、対象施設にならないというふうに理解しております。

ちょっと補足はあるかな。ちょっと担当課長から補足させます。

○議長（中原 信男君） 住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） まず、初めの質問の、なぜ福祉の施設だけに限定するのかというところの一番大きな理由は、こういった医療、介護、障害の施設につきましては、国が定めた公定価格での運営をされているところが一番大きな理由です。価格転嫁ができないというところですね、そこが一番大きな理由になります。

次の、2つ目の質問の施設につきましては、指定取消しということですので、かなり重たい処分でございます。これにつきましては、この支援金が支給されることのないよう要綱整備をしていきたいと思っております。以上です。

○議長（中原 信男君） 9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君） 先ほど町長の答弁では、私はこれが今回の高騰の補助金を出すい

う、医療、福祉等に出すのが駄目だということを私は言ってるわけじゃない。町長はそういうようなニュアンスの答弁されましたけど、私が言ってるのは、町長が今、言われたように、各家庭には、商品券1万円のを全家庭に、各1人に1万ということで、これはしてます。ただ、民間企業っていうのは様々な企業がありまして、その人たちもそういう影響は十分受けてるはずなんです。その中で、今回これの医療、介護、福祉施設に限定した理由を私は聞いてるんです、そういう理由を。町長は今、国の方針にというふうにありましたけど、これはコロナの交付金が私は453万8,000円出てるという、これはひもつきですか、こういうのに出しなさいという補助金がここは入ったんですか。

○議長（中原 信男君） 埒田町長。

○町長（埒田 淳一君） 基本はコロナ交付金ですし、そして、もう一度ちょっと整理しますと、先ほど担当課長が言いましたように、物価高騰、そういった中で、どういうんですか、経費分をできるだけ上げないようにしたいんだけど、価格転嫁をするというようなことができる業種さんもおられる。そういった中で、診療報酬であったり介護報酬であったり、国が定めた報酬以内でやらないといけない、以内というか、そういう報酬の見直しがなかなかできない、できないっていうか、上げれない、独自にですね。そういった業種ですので、その分を見ないといけないっていうか、見てあげるというような趣旨です。そういうふうに御理解いただきたいと思います。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 資料のその他の施設の中に、これは確認です、セルプひのマンダリン分場というのがありますが、これは住所を教えてください。どこにあるのか。

○議長（中原 信男君） セルプひのの。

住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） お答えいたします。

ちょっと住所は把握しておりませんが、オシドリ観察小屋の近くにある、うどんをメインに提供されている食堂があると思うんですが、そのことを指しております。以上です。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） これ、法人は祥和会で同じく障害者ということでの施設で、セルプひのというのが社会福祉法人取っておられると思いますが、このマンダリン分場というのは法人が別になってますか。同じ法人でありながら、事業所があるからというのは根拠的にはちょっと弱いんじゃないかなと思うんですが、その根拠をもう少し説明をしておいてください。

○議長（中原 信男君） 住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） 私どもの考えとしましては、全く別の電気料とか、別形態の運営となっております。法人は一緒なんですけれども、それぞれに経費がかかっているところからすれば、この支援をなるべく幅広く行き届くようにしていきたいという思いから、別の施設扱いとさせていただいております。以上です。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） ないようですので、次に、13ページ下段、農林水産業費から、18ページ、教育費までの質疑を行います。

8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 14ページの畜産費についてお尋ねをいたします。よろしいですか。

これは畜産経営で、救済事業として108万4,000円は計上されております。これは幾度となく大山乳業を含めた支援ということでのっておりますが、この108万のお金の流れをもう一度勉強したいと思いますので、詳細説明をお願いします。

○議長（中原 信男君） 五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 議員の御質問にお答えいたします。

こちらの補助金でございますが、事業主体は大山乳業農業協同組合様でございます。そちらに加盟しておられる、そちらに出荷しておられる町内の酪農家の方に、大山乳業農業協同組合さんを経由して支援をするというものでございます。流れといたしましては、県と大山乳業さん、そして町、農家、それぞれに負担といたしますか、負担割合を設けて、その町の負担分を大山乳業に支援するというものでございます。以上でございます。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） この108万は町内にある畜産農家に出すんじゃなくて、大山乳業に払うんですか。そのお金の流れを教えてくださいという意味で申し上げました。

○議長（中原 信男君） 理解できましたか。

○産業振興課長（五百川和久君） はい。

○議長（中原 信男君） 五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 議員の御質問にお答えいたします。

直接、本町の酪農の農家に支援するのではなく、大山乳業さんへ支援し……。

○議長（中原 信男君） 駄目だ。ちょっとちょっと五百川君、もう1回。マイクがちょっと入ってないみたいだけん、近づけて。最初から、いいですか。

お金の流れを教えてくださいということなので、地元の業者に行くのか、それとも大山乳業に行くのか、その辺だけはっきり答えてあげてください。（「マイクが」と呼ぶ者あり）

ちょっと、止めて。マイクが駄目なの。ちょっと休憩します。

午前10時20分休憩

---

午前10時24分再開

○議長（中原 信男君） それでは、再開いたします。

8番、安達議員の質疑に対して、五百川産業振興課長、答弁のほうよろしくをお願いします。

五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 議員の御質問にお答えいたします。

こちらの支援でございますが、町が大山乳業協同組合に補助いたします。大山乳業協同組合は県からの補助と、こちら町からの補助を合わせて、こちらの本町の酪農家への支援を行うという流れになっております。以上でございます。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 大山乳業からの支援というのは、どういった支援になるんでしょうか。引取り価格を上げるとか、あるいはこのお金を酪農農家に配付をして飼料代の足しにしようか、そこはどのようなお金の流れ、考え方になってますか、お尋ねします。

○議長（中原 信男君） 五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 大山乳業から酪農家への支援でございますが、購入している飼料ですとか、あと乳価の金額、そのような支援を行われると聞いておるところでございます。以上でございます。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

9番、竹永……えっ、3回済んだんやないかいな、安達議員、今のやつ。（「2回」と呼ぶ者あり）2回だったかな。申し訳ございません。

竹永議員、申し訳ございません、安達議員がもう一つあるみたいですので。失礼いたしました。安達議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 今の流れはもう一度私なりに後でも勉強いたします。

そこで、いつも畜産支援ってということで、本町には和牛農家もあるのに、どうしてこの乳牛農

家だけの支援かということをお尋ねしてまいりました。最初のほうの答弁は、町長も含めて、またコロナウイルス感染症の交付金が来たときに考えますということをご度々おっしゃっていただきました。そこで、前は県の和牛農家だけの団体、畜産機構っていうんでしょうかね、そこが支援しているんで、町からは個別に支援はしませんというようなことでもありました。それはそれでいいとして、飼料を買って和牛農家も経営をされている以上、その補填っていう部分は大変お待ちになってるんじゃないかなと思うんですが、前回は和牛農家にしたら今のところ大丈夫だというようなことで、また次回に考えますということでもありましたが、今回は乳牛だけの支援になったというのは、和牛農家はまだ大丈夫だということの判断をされたということでしょうか。これ、町長に、政策的なことなのでお聞きします。

○議長（中原 信男君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 予算査定の際に、今、議員さんおっしゃられたようなことをやっぱり、どうなの、乳牛だけでいいの、和牛のほうはどうなのかというのを検討いたしました。和牛の飼育とか肥育とかを一番身近で感じてるのは農協さんだと思います。農協さんとかそういう生産団体からどういうアクションがあったのかなかったのか、さらには、どういうんですか、子牛の肥育牛の取引価格とか、そういうようなことをいろいろ考えたり情報を取ったんですけども、どうもまだそういう生産団体であったりそういうところから、農協さんも含めて、和牛のほうについてはそういう御要望がなかったんで、そういうことなのかなっていうことで和牛のほうは計上していません。以上です。（発言する者あり）

○議長（中原 信男君） どうぞ。

○議員（8番 安達 幸博君） 和牛農家もそういうアクションは向こうからなかったからということじゃなくて、やっぱりこちらからもそういう、何回も議会が指摘してることで、こちらから、執行部側からもアクションを起こしてください。それで、和牛も子牛が値段がかなり下がっておりますから、大変苦しいと思いますので、しっかりとこれを機会に執行部のほうから、担当課長のほうからアクションを起こして情報把握していただきます。以上。配慮ありがとうございました。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君） 16ページの建設水道課の中の住宅管理ということで、今回242万円ほど黒坂団地のカーポートの修繕工事というのがのっております。これは積雪によって壊れたということは理解しますが、この1棟120万という金額は、これは新しく建ててもおかし

くないような金額ですが、どのような修繕をされるのかちょっとお聞きしたいと思います。どの程度壊れて、どういう修繕をされるのか。

○議長（中原 信男君） 音田建設水道課長。

○建設水道課長（音田雄一郎君） 御質問にお答えいたします。

このカーポートにつきましては、屋根の部分につきまして、雪害によりまして傾斜、へこんでおるということで、修繕の内容につきましては、土台から全部替えると、同じものが存在いたしませんので、柱のほうから全部替えていくというところで見積りを取らしていただきましたら、1棟約120万程度のものがかかると。カーポートにつきましても、資材の高騰等がありましてこのような金額になっております。規模的には同じようなタイプのようなものをつけるような修繕ということで、見積りを取った結果でございます。以上です。

○議長（中原 信男君） 9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君） 今、説明でよく分かりました。修繕というより、新しくやり替えるということでの説明でよく分かりましたけど、これは町の施設でありまして、当然、入居者の人がカーポートの積雪等は、ある程度のところで自分でやっぱり雪下ろしをすることかいうことは当然であろうと思います。その中で、高齢者の人でなかなかそれができないということで、多分、今回こういうことが起きたんだろうと思いますが、やっぱり町の施設ですから、高齢者の人がそういう雪下ろしができないときには、町がそれなりの対応をしないと。例えば例を挙げますと、今回、新年度予算でリバーサイドのテントもそうです。あれもすごい金額で修繕してますよね。それはちゃんと維持管理を町として、町のものでありますから、それはやっぱり雪がそれだけ降ったときには、常にそういうことを対応しないと、その都度これだけの金額を一般財源でつぎ込まないといけないと。それは当然、町としては、そういうことを考えてこれからやらないといけないと思いますが、町長、どう思われますか。

○議長（中原 信男君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 議員さんのおっしゃるとおりだと思います。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

4番、中山法貴議員。

○議員（4番 中山 法貴君） 15ページの商工費につきまして。

これ、日野町くらし応援商品券事業、町民全員に1万円の商品券を交付するというものです。これの配布時期と配布方法の計画を教えてください。また今回、一般財源も入っておりますが、商品券の金額を1万円とした理由を教えてください。町民の方はやはり今、物価高騰などで困っ

ておられまして、できるだけ多くの支援を求めています、1万円とした根拠を教えてください。

○議長（中原 信男君） 五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 議員の御質問にお答えいたします。

こちらのくらし応援商品券の配布時期、配布方法、そして金額のお尋ねです。

まず、配布時期でございますが、現在の予定といたしましては、7月末に発送を開始し、8月の18日頃には到着できるような想定で計画をしております。

配布方法でございますが、こちらにつきましては、昨年同様レターパックを使って全戸に配布をさせていただきたいと考えております。

また、1万円とさせていただいた根拠でございますが、こちらは一般財源も活用させていただきたいと考えておりますが、やはり原油価格ですとか物価高騰の直面しておられる町民の皆様の生活支援ですとか家計支援、また、消費拡大により町内事業者の皆様への下支えに資するためには、やはりこちら1万円、一般財源を活用させていただきながら何とか日野町の暮らしを支えていきたいというところで、金額としては1万円にさせていただいたところでございます。以上でございます。

○議長（中原 信男君） 4番、中山法貴議員。

○議員（4番 中山 法貴君） 全員協議会のときは、たしか配布予定が8月末ということだったんですけど、7月末に早めることができたということですか。

○議長（中原 信男君） いやいや、8月の18日に届くであろうという答弁だったね。

○議員（4番 中山 法貴君） はい。全員協議会では8月末ということだったんですけど、早めることができたということですか。

○議長（中原 信男君） 五百川産業振興課長。

○産業振興課長（五百川和久君） 御質問にお答えいたします。

発送を7月の28日頃から開始して、それから到着の最終形を、全員協議会のとき8月末というところではございましたが、より具体的に精査しまして、何とか8月の18日頃にはというところで調整を図っているところでございます。以上でございます。

○議長（中原 信男君） ほかにありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） ないようですので、最後に、議決部分であります1ページから5ページまでの質疑を行います。ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第2、議案第49号、令和5年度日野町一般会計補正予算（第3号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第49号は、原案のとおり可決されました。

---

### 日程第3 議案第50号

○議長（中原 信男君） 日程第3、議案第50号、令和5年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第3、議案第50号、令和5年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第1号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第50号は、原案のとおり可決されました。

---

### 日程第4 議案第51号

○議長（中原 信男君） 日程第4、議案第51号、令和5年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第4、議案第51号、令和5年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第51号は、原案のとおり可決されました。

---

## 日程第5 議案第52号

○議長（中原 信男君） 日程第5、議案第52号、令和5年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第5、議案第52号、令和5年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第52号は、原案のとおり可決されました。

---

日程第6 議案第53号

○議長（中原 信男君） 日程第6、議案第53号、日野町副町長の選任についてを議題といたします。

音田副町長は本件の当事者となりますので、ここで退席をいただきます。

[副町長 音田 守君退場]

○議長（中原 信男君） 提出者の説明を求めます。

埜田町長。

○町長（埜田 淳一君） ただいま上程されました議案第53号、日野町副町長の選任について御説明申し上げます。

議案書を御覧いただきたいと思います。日野町副町長の任期が令和5年6月20日に満了することから、引き続き日野町副町長に日野町野田259番地の3、音田守氏を選任したいので、議会の同意をお願いするものでございます。

音田氏は、昭和56年3月に近畿大学商経学部を卒業後、同年、本町事務員として採用されて以来、平成31年3月に定年退職されるまでの間、総務課、税務課、住民ふれあい課、企画振興課、地域整備課、教育委員会など幅広く部署を経験し、平成24年4月からは議会事務局長として、平成29年4月からは産業振興課長及び農業委員会事務局長として要職を務められました。令和元年6月21日からは、議会の御同意をいただき副町長に就任され、現在に至っております。

音田氏は行政全般に識見が高く、内にあっては職員の人望もあり、地元日野町のことをよく知り、副町長として適任でございます。また、外にあっては現在、鳥取県西部町村会副町村長会の会長の重責も担っていただいております。ぜひ御同意いただきたく、御審議のほどよろしく願いします。

なお、任期は、令和5年6月21日から令和9年6月20日までの4年間でございます。よろしく願いいたします。

○議長（中原 信男君） 説明が終わりましたが、質疑はありませんか。

[質疑なし]

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第6、議案第53号、日野町副町長の選任についての採決を行います。

この採決は、無記名投票により行います。

議場の出入口を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○議長（中原 信男君） ただいまの出席議員数は、議長を除いて9人であります。

次に、立会人を指名いたします。

会議規則第32条第2項の規定によって、立会人に、7番、松本利秋議員、8番、安達幸博議員を指名いたします。

これより投票用紙を配付します。

念のため申し上げます。本案に同意することに賛成の方は所定の枠内に丸を、反対の方は所定の枠内にバツの記載をお願いします。

〔投票用紙配付〕

○議長（中原 信男君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

○議長（中原 信男君） 異状なしと認めます。

ただいまから投票を行います。

1番議員から議席順に順次投票してください。

1番、小林良泰議員。2番、小河久人議員。3番、坪倉敏議員。4番、中山法貴議員。5番、梅林智子議員。6番、金川守仁議員。7番、松本利秋議員。8番、安達幸博議員。9番、竹永明文議員。

投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 投票漏れなしと認めます。投票を終わります。

開票を行います。

松本議員、安達議員、開票の立会いをお願いいたします。

〔開 票〕

○議長（中原 信男君） 投票の結果を報告いたします。

投票総数 9 票、有効投票 9 票、無効投票ゼロ票です。

有効投票のうち、賛成 8 票、反対 1 票。

以上のおり賛成が多数であります。よって、議案第 5 3 号は、原案に同意することに決定いたしました。

議場の閉鎖を解除いたします。

〔議場閉鎖〕

〔副町長 音田 守君入場〕

---

### 日程第 7 意見書第 1 号

○議長（中原 信男君） 日程第 7、意見書第 1 号、少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

5 番、梅林智子議員。

○議員（5 番 梅林 智子君）

---

意見書第 1 号

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

別紙のとおり、少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書を提出する。

令和 5 年 6 月 1 6 日提出

提出者 日野町議会議員 梅 林 智 子

賛成者 日野町議会議員 小 河 久 人

賛成者 日野町議会議員 竹 永 明 文

賛成者 日野町議会議員 松 本 利 秋

賛成者 日野町議会議員 中 山 法 貴

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、

財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

---

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられるものの、今後は、小学校に留まることなく、中学校・高等学校での早期実施も必要です。加えて、きめ細かい教育活動をすすめるためには、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

#### 記

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教職員の処遇について、新規採用を持続的に確保し、専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、改善に必要な財政措置を講じること。
5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月16日

鳥取県日野町議会

---

○議長（中原 信男君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

[討論なし]

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第7、意見書第1号、少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、意見書第1号は、提案のとおり提出することに決定をいたしました。

---

### 日程第8 議員派遣の件

○議長（中原 信男君） 日程第8、議員派遣の件を議題といたします。

今後予定されております議員派遣の件については、お手元に配付しております文書のとおりであります。

議員派遣の件について、異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣の件は、別紙のとおり決定いたしました。

---

### 日程第9 閉会中の継続調査の申し出

○議長（中原 信男君） 日程第9、閉会中の継続調査の申し出を議題といたします。

総務経済常任委員会委員長、教育民生常任委員会委員長、議会広報常任委員会委員長、議会運営委員会委員長により、調査中の事件について、お手元に配付いたしました申出書のとおり閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りいたします。委員長申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに異議はありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。よって、委員長申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定をいたしました。

---

○議長（中原 信男君） 以上で本定例会に付議された事件は全て議了いたしました。

よって、会議規則第7条の規定により閉会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。

よって、令和5年第4回日野町議会定例会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。  
終わります。

午前11時04分閉会

---